

♪「春風コンサート」ぶらり訪問記♪

音楽センター東部アコーディオン教室発表会

日 時 2010年4月4日(日)13:30 開演
会 場 イベントホールニュートーキョー
交 通 常磐線「松戸」駅、東口前
講 師 木下そんき / 鶴見篤子
参加費 無料

.....
関東一円でちょうど桜が満開となり一番の見ごろとなった日曜日の昼下がり、「春風コンサート」に出かけてみました。昨日から気温が下がり、少し肌寒い1日でした。今年は、「会場が取れなくて少し狭いけどイベントホールを借りた」と聞いていました。

場所は、東口の目の前で改札口から1分とかかりませんが、コンビニの2階フロアが会場でした。確かに全員で合奏をするにはちょっと窮屈かなと思いました。

主催者の話では、このホールは毎月第1日曜日夜 17:00～20:00、ピアノ・アコーディオン・フルート等の生伴奏で行っている『松戸のうたごえ』で利用している会場とのことでした。

私が思い違いをしていたのが、会場に着いたときには既に4曲ほど終わっていたのは少々残念でした。

演奏者は、写真のように窓ガラスを背にしていたので客席から透明なガラスを通して目の前に駅の改札から続く歩道橋が見え歩行者も目に入ってしまうので、窓にカーテンがあると良かったのではと思いました。

プログラムの構成は、重奏、独奏、途中ひと休みに「みんなで歌おう」等よく工夫されていました。プログラムを見ると講師演奏を含めて全部で18曲です。「オー・シャンゼリゼ」、「コンドルは飛んでいく」、「峠の我が家」、「一週間」、「ダニーボーイ」、「ばら色の人生」、「あこがれのハワイ航路」、「サウンド・オブ・ミュージック」、「津軽のふるさと」、「ポルプタ」、「パリのお嬢さん」他。シャンソン、民謡、歌謡曲、ポピュラー、エンディングはクラシックでドボルザークの「新世界より」第4楽章と幅広いジャンルの演奏で、アコーディオンを練習している人なら一度は弾いたことのある曲であったり、いずれ弾いてみようとおもっている曲であったりと、とても気楽に楽しめるプログラムでした。また、皆さんとてもきれいな音でした。

新世界はかなり弾き込んでいるのでしよう縦線を含ませるのがかなり難しい曲ですが皆さんの息がぴったりあって気持ちの良い演奏でした。

ピアノは少し離れていて一緒には写らなかったで別になりました。(乙津・記)

写真は「新世界より」第4楽章の演奏の様子



